

2016年度 第1回 研究倫理委員会 議事録

日時：4月13日（水）午後6時00分～午後7時00分

出席者：岸貴介、渡邊和子、西村知晃、太田進、大浦智子、高崎義幸、安部基幸（オブザーバー：以下OBと略記）、山田芳樹、五十嵐彬美

欠席者：なし

審議事項

1) 本年度の担当窓口について

議事録、広報関係……五十嵐	モニタリング……五十嵐、岸
動物慰霊祭……山田・岸	倫理規程関係……山田・岸
協議会および戦略会議、倫理審査委員会認定申請……山田	
倫理審査受付および連絡……山田・五十嵐	
eラーニング……山田・渡邊	動物実験施設……渡邊
副委員長……渡邊・西村	経営学部関係……西村・高崎
学部生への倫理講習（10月頃？）……岸	
リハビリテーション学部卒業研究の倫理審査……太田・大浦、他全員（外部委員、OBを除く）	
教員・大学院生の迅速審査……太田・大浦、他全員（OBを除く）	
教員・大学院生の通常審査……全員	

2) 本年度のCITIについて

前年度と同様に受講することとし、本年度の受講開始までは前年度のものを有効とする。なお、次年度からはCITIのeラーニング受講には35万円程必要となる見込。

平成28年4月末より、日本学術振興会から無料のe-learning提供が始まり、個人でも機関でも参加できるが、現在のところ管理体制は不明。本年度まではCITIでの受講が無料であるため、本年度はCITIのe-learningを受講する方向で検討する。また、CITIでは6月から新たに人文社会学系のコースが開設されるため、本学の受講も6月もしくは7月からスタートとしてはどうかとの案が出された。

CITIの受講に伴い、新任教員・大学院生等のメールアドレス登録が必要となる。

3) モニタリングについて

モニタリングは研究倫理委員会側ではなく、研究者側で実施していただくが、利益相反についてのチェック欄が提出書類にあるように、モニタリングの必要性についてもチェックリストの形で提出できるよう、新たに欄を設ける。モニタリングが必要かどうかの基準は、但し書きとしてガイドラインの対象範囲を抜き出して掲載する。

4) チェックリストについて

研究説明書、同意書など一般の方が目にする資料について、「研究対象者」の語を極力用いないとの項目を設置する。併せて、提出書類の文言も見直す。

5) 保管部数について

申請者が事務へ提出する書類の部数は3部であるが、許可後の保管部数については、委員長保管部数を2部から1部に変更する（事務での保管部数は従来通り1部）。

6) 本年度の委員会開催について

申請がなく、メール審議等で代替可能な際は、それも可とする。

7) 前期開催日時について

5/11、6/8、7/6、8/3の18時に開催（9/7は夏休みのため可能ならば若干早く開催）。

報告事項

1) 新規の許可証発行1件：木納潤一（通常）

2) 研究倫理審査一覧の掲載：大学ウェブサイトにて1月29日承認分までが掲載済み

3) 議事録の掲載：大学ウェブサイトおよび厚生労働省関係のウェブサイトに3月分までが掲載済み ※厚生労働省関係のウェブサイトにおける基本情報を更新する必要あり

4) CITIのeラーニングの修了証新規発行6件：「倫理2015049」までが発行済

5) リハビリテーション学部卒業研究倫理審査：16OT03、05～12、16PT02～03が承認済
※リハビリテーション学部卒業研究倫理審査フォーマット（PT・OT共通）を、院生用フォーマットを基に作成し、学内サイトからダウンロードできるよう手配する。

※許可証の発行は必要ないか？（現在は審査終了の旨をメールで通知）

番号の設定をしているが、許可証の発行はしない。審査依頼があった際は迅速審査とする。

6) 研究不正についての規程改正：先の戦略会議（3/22）で改正。規程集への反映待ち

※なお、規程集の研究倫理関係の箇所が修正を要する状態になっている。人を対象とする研究専門倫理委員会規程、動物を対象とする研究専門倫理委員会規程がそれぞれ重複して掲載されており、その他必要な規程が掲載されていないため、修正するよう事務局に依頼をする。

7) 動物実験施設外部検証

検証結果を本学ウェブサイト上に公開する。

次回開催予定：5月11日（水）午後6時00分～